

経営比較分析表

岩手県 一関市

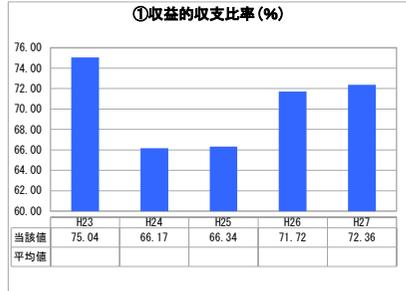
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.40	97.41	3,240

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
122,644	1,256.42	97.61
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
5,362	2.51	2,136.25

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



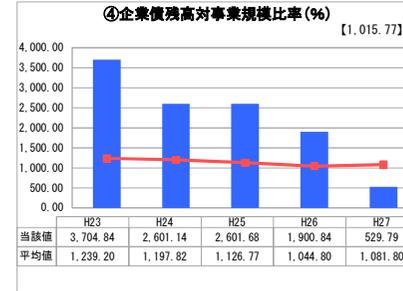
「単年度の収支」



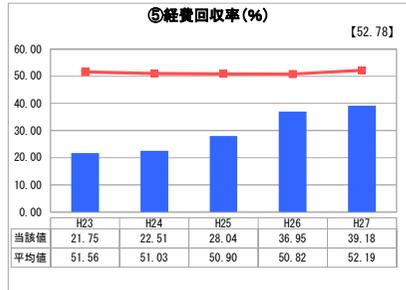
「累積欠損」



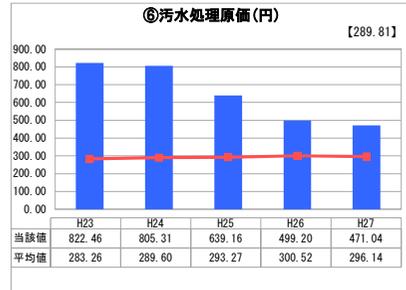
「支払能力」



「債務残高」



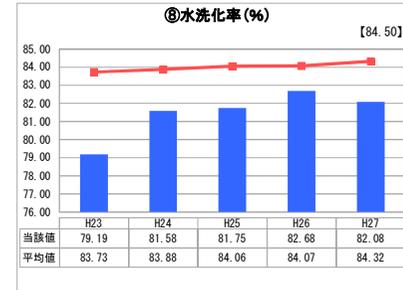
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

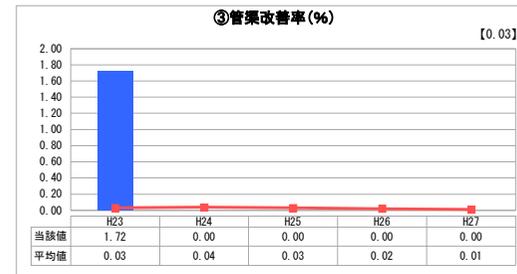
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

農業集落排水事業は整備が完了し運用していますが、施設の老朽化による修繕や更新など、維持管理費の増加が見込まれることや、水洗化率が伸び悩んでいることなどにより、維持管理費を使用料で賄うことが困難な状況です。
人口減少などにより使用料収入の増加が見込めず、維持管理費が増加する状況から、公共下水道への統合や、管理体制の効率化などに取り組む必要があります。

2. 老朽化の状況について

平成23年度は東日本大震災による災害復旧において管渠更新を行ったところです。
供用開始後20年以上を経過した施設では、コンクリートの劣化や電気、機械設備の老朽化などにより修繕の必要性が高まってきています。
平成26年度に策定した最速整備構想に基づき計画的な施設更新や改築を行います。

全体総括

持続的で健全な汚水処理事業の経営のため、中長期的な財政見通しを基に、効率的で安定した汚水処理事業の経営に向けた体制を整えます。
一つ目に、効率的で安定した経営を目指すため、平成28年度中の経営戦略の策定と、平成32年度からの地方公営企業法適用への移行を進めます。
二つ目に、将来的な経営を見通した施設の統廃合や組織体制を見直します。最速整備構想を基本に、平成29年度には黒沢地区の公共下水道への接続を行い、他の施設についても検討を進めます。
三つ目に、中長期的な経営見通しを反映した使用料の適正化を図ります。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。